



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL <https://www.keyware.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘  
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画部 広報IR室長 (氏名) 北川 久美子 (TEL) 03(3290)1111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,132	11.4	17	—	64	—	45	—
2025年3月期第1四半期	4,605	1.4	△190	—	△56	—	△34	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 38百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	5.44	—
2025年3月期第1四半期	△4.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,256	7,341	71.6
2025年3月期	10,779	7,569	70.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 7,341百万円 2025年3月期 7,569百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	6.6	1,100	19.4	1,150	△6.1	800	△22.5	95.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 — 社(社名) — 、除外 1社(社名) キーウェアサービス株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	9,110,000株	2025年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	760,673株	2025年3月期	760,673株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	8,349,327株	2025年3月期1Q	8,050,939株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. その他	11
(受注の状況)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復が続きました。一方で、アメリカの通商政策の動向や物価上昇による消費者マインドの悪化、中東情勢の不安定さを背景に、先行きについては依然として不透明な状況が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、本年7月に総務省が発表した2025年5月のサービス産業動態統計調査(速報)によれば、売上高合計は前年同月比11.6%増と38ヵ月連続で前年を上回りました。また、当社グループの売上高の半分を占める「受注開発ソフトウェア業」も前年同月比17.5%増と前年を上回り、業界全体として底堅い需要が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、2023年3月期からスタートした5ヵ年中期経営計画「Vision2026」において「基盤事業の質的転換」「プライムビジネス\*の拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針を掲げ、事業拡大と高収益化の実現に向けた取り組みを進めております。

「Vision2026」の4年目となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、プロダクトやクラウドサービスなどの活用拡大に取り組むとともに、2021年に資本業務提携を締結した3社(株式会社JR東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社)との連携を一層推進したほか、請負案件の拡大、不採算案件の抑制に引き続き取り組みました。また、医療ソリューション事業においては、昨年度に病理検査システム「Medlas-BR」をリニューアルしたことに続き、本年度は臨床検査システム「Medlas-Fit」をリニューアルするなど、パッケージソリューションの強化に継続して取り組みました。

「プライムビジネスの拡大」に向けては、SAP、BizJ、IFSといったERPパッケージを活用した基幹システム刷新の提案活動を積極的に推進したほか、ERPソリューションの競争力向上を図るべく、BizJを活用した自社開発テンプレートの新バージョンの提供に向けた開発に取り組んでおります。また、クラウド移行支援や、システム開発からインフラ構築までを含む一貫したソリューションの提案を通じて、顧客との新たな接点の創出と対応力の強化を図りました。さらに、連結子会社である株式会社クレヴァシステムズに同じく連結子会社であるキーウェアサービス株式会社を吸収合併させるとともに、当社が担っていたSI事業の一部およびDX推進に関するコンサルティング業務を移管しました。これにより、グループ内の技術・ノウハウを集約し、包括的で付加価値の高いサービスを提供する体制を構築しました。

「新領域へのチャレンジ」に向けては、連結子会社である株式会社オーガルが、宮崎県で次世代型施設園芸への参入を目指す合同会社継に出資し、農業ICTを活用したキュウリの次世代型生産事業への参画を開始しました。また、サイバーセキュリティ領域における体制強化を目的として、エンジニアおよび営業担当者の育成に取り組んだほか、デジタル金融領域への取り組みの一環として、関連領域への参画やブロックチェーン技術を活用したサイバーレジリエンスサービス「デジタルシェルター」の導入提案活動を推進しました。

※ 当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は4,740百万円(前年同期比83百万円増、1.8%増)、売上高は5,132百万円(同526百万円増、11.4%増)、営業利益は17百万円(前年同期は190百万円の損失)、経常利益は64百万円(前年同期は56百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円(前年同期は34百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、期初に行った組織改編およびグループ会社間での事業譲渡等に伴い、前連結会計年度まで「システム開発事業」に所属していた事業の一部を「SI事業」に移管し、「SI事業」に所属していた事業の一部を「その他事業」に移管いたしました。これに伴い、各報告セグメントの前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しており、前期比較につきましては、変更後の区分方法に組み替えたものによっております。

#### ① システム開発事業

受注高は3,034百万円(前年同期比47百万円減、1.6%減)、売上高は3,035百万円(同378百万円増、14.2%増)、営業損失は9百万円(前年同期は145百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、運輸系や医療系において案件拡大などがあったものの、前期に大型案件の受注があった公共系での反動減などが影響し、前期比で減少となりました。売上高につきましては、前期に大型案件の受注があった公共系、I o T系の開発が順調に進捗したことなどにより前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に加え、前期において発生していた不具合対応等が収束したことなどにより、前期比で損失を大幅に縮小いたしました。

② S I 事業

受注高は993百万円(前年同期比8百万円増、0.9%増)、売上高は1,504百万円(同143百万円増、10.5%増)、営業利益は55百万円(前年同期は19百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、前期に大型案件の獲得があったインフラ系において受注の反動減などがあったものの、官公庁向けの既存案件の拡大などにより前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加などにより前期での損失計上から改善し利益計上となりました。

③ その他事業

受注高は712百万円(前年同期比122百万円増、20.7%増)、売上高は592百万円(同4百万円増、0.8%増)、営業損失は20百万円(前年同期は21百万円の損失)となりました。

受注高および売上高につきましては、サポートサービス系などが堅調に推移したことなどにより前期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加などにより前期比で損失を縮小させることができました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、8,123百万円(前連結会計年度末比434百万円減、5.1%減)となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加、売掛金の減少であります。

② 固定資産

固定資産残高は、2,133百万円(前連結会計年度末比87百万円減、4.0%減)となりました。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,555百万円(前連結会計年度末比298百万円減、10.5%減)となりました。主な変動要因は、買掛金の減少、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、359百万円(前連結会計年度末比4百万円増、1.2%増)となりました。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,341百万円(前連結会計年度末比228百万円減、3.0%減)となりました。主な変動要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、概ね当初計画どおりに推移していることから、2025年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの事業特性として第4四半期に認識される収益の割合が高くなる傾向にあるため、第1四半期連結累計期間の損益は、通期の業績予想から相対的に低くなる傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,863,790	2,496,670
受取手形、売掛金及び契約資産	6,112,040	4,832,076
電子記録債権	206,031	207,534
商品及び製品	65,352	122,586
仕掛品	19,565	58,404
その他	295,166	409,989
貸倒引当金	△3,741	△3,970
流動資産合計	8,558,205	8,123,292
固定資産		
有形固定資産	389,609	361,621
無形固定資産		
のれん	63,927	58,600
その他	290,524	278,070
無形固定資産合計	354,451	336,670
投資その他の資産		
投資有価証券	361,600	351,674
その他	1,115,309	1,083,089
貸倒引当金	△45	△45
投資その他の資産合計	1,476,865	1,434,718
固定資産合計	2,220,926	2,133,009
資産合計	10,779,132	10,256,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,137,554	861,510
未払法人税等	134,038	12,041
賞与引当金	848,141	378,043
その他	734,550	1,303,796
流動負債合計	2,854,284	2,555,391
固定負債		
資産除去債務	355,222	356,271
その他	—	3,230
固定負債合計	355,222	359,502
負債合計	3,209,507	2,914,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	761,417	761,417
利益剰余金	5,420,752	5,198,981
自己株式	△449,394	△449,394
株主資本合計	7,470,011	7,248,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,613	93,166
その他の包括利益累計額合計	99,613	93,166
純資産合計	7,569,625	7,341,408
負債純資産合計	10,779,132	10,256,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,605,932	5,132,323
売上原価	4,009,149	4,294,748
売上総利益	596,783	837,575
販売費及び一般管理費	787,769	820,078
営業利益又は営業損失(△)	△190,985	17,496
営業外収益		
受取配当金	2,041	36,217
持分法による投資利益	115,837	—
その他	19,669	15,359
営業外収益合計	137,548	51,576
営業外費用		
支払手数料	3,320	4,638
その他	189	0
営業外費用合計	3,509	4,638
経常利益又は経常損失(△)	△56,946	64,434
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,485
特別利益合計	—	3,485
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△56,946	67,919
法人税等	△22,854	22,511
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,092	45,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,092	45,407

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,092	45,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,853	△6,446
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,794	—
その他の包括利益合計	8,059	△6,446
四半期包括利益	△26,033	38,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,033	38,961
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	2,657,385	1,360,637	587,909	4,605,932	—	4,605,932
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,325	1,777	51,669	82,772	△82,772	—
計	2,686,710	1,362,415	639,578	4,688,705	△82,772	4,605,932
セグメント損失(△)	△145,368	△19,157	△21,440	△185,966	△5,019	△190,985

(注) 1. セグメント損失の調整額△5,019千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない  
 全社費用等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	3,035,524	1,504,087	592,711	5,132,323	—	5,132,323
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	56,371	6,424	67,628	130,424	△130,424	—
計	3,091,895	1,510,512	660,339	5,262,747	△130,424	5,132,323
セグメント利益 又は損失(△)	△9,107	55,423	△20,837	25,478	△7,982	17,496

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△7,982千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分し  
 ていない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

期初に行った組織改編およびグループ会社間の事業譲渡等に伴い、前連結会計年度まで「システム開発事業」に  
 所属していた事業の一部を「S I 事業」に移管し、「S I 事業」に所属していた事業の一部を「その他事業」に移  
 管いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の表示に合わせて組替再表示してお  
 ります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	50,633千円	54,428千円
のれんの償却額	7,463千円	5,327千円

3. その他

(受注の状況)

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 自 2025年4月1日 至 2025年6月30日			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
システム開発事業	3,034,405	△1.6	3,720,032	5.7
S I 事業	993,956	0.9	1,786,510	1.8
その他事業	712,035	20.7	615,458	△20.3
合計	4,740,398	1.8	6,122,001	1.2

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。